

スリット加工に特化した グローバルニッチトップ企業を目指して

株式会社福田メタル 代表取締役 福田 好文 氏



バブル崩壊後の1994年に、業界内では最後発の委託スリット加工業として創業しました。スリット加工とはお客様から指定された材料を指定の仕様に幅ぎり切断する加工です。当社製品は携帯電話・パソコン等の電子機器、精密機器、車載部品、EV電池等の多岐に渡って使用されており、お客様の潜在ニーズや技術情報を先取りし、求められる材料をどこよりも早く提案・提供することを心掛けています。

絶対的品質を支える技術力、 顧客ニーズを追求した価値提供が強み

当社は、鉄鋼・非鉄金属・金属合金・各種メッキ材から各種複合材料や脆弱材料まで幅広い材料を多様なサイズ・仕様にスリット加工できる高い技術力と、短納期・多品種・小ロット対応の価値提供で、お客様のご要望にお応えしてまいりました。

顧客ニーズの変化を敏感に捉え、品質にこだわり、難易度の高い加工に果敢に挑み続けていくことが、顧客満足度を高め、自社の成長につながると考えています。

財団の専門家派遣を 経営力強化や人材教育に活用

自らが成長を続けていくために、従来の業務遂行に注力するだけの運営から、計画的に運営できるような経営力強化の取り組みが必要だと考えていました。

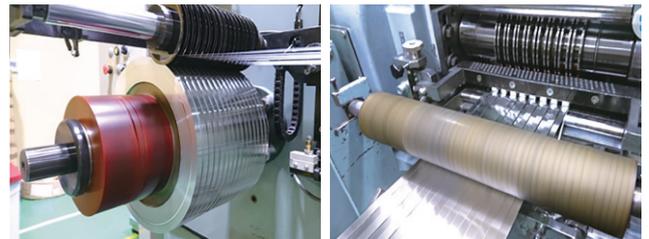
青木信用金庫より、財団の専門家派遣を紹介いただき、中小企業診断士の先生の指導のもと、後継者や若手社員たちが自ら手を動かし、中期経営計画を策定していきました。経営課題の一つであった人材育成・社員教育としても活用でき、大変良い機会となりました。

次のステージに向けた生産性向上 DX推進の専門家派遣支援へ

喫緊の経営課題として、受注増による業績拡大に対する生産性・品質の維持、人員体制・残業時間抑制がありました。

課題解決に加え、次のステージも見据えた生産性向上のための自動化やDX推進を図るため、財団のDX支援専門家派遣による支援をいただいています。

KINTONEによる情報共有や業務フローのデジタル化が実現し始めています。引き続き、最新のテクノロジーやデジタル技術を取り入れた設備・業務改善へ注力していきたいと思います。



▲お客様の多様なご要望にお応えし、試作・少量生産から量産まで短納期対応できることが自社の強みです。



◀現在、財団のDX支援専門家派遣を活用して社内のDX推進を図っています。ミーティングには可能な限り社員を参加させ、人材育成・教育にも活用しています。

支援金融機関

専門家との連携により 中小企業の課題解決をサポートします

福田メタル様は社内一丸となって生産性向上や経営計画の作成に取り組んでおられました。勉強熱心で経営に対して常に前向きな皆様から刺激を受けることも多く、共に学びを得ていました。

目まぐるしく変わる社会の中でお客様の悩みも様々であり、我々にも情報力が求められています。当金庫では「First Call Shinkin Bank」のスローガンのもと、地域一番の金融サービスを目指して外部支援機関とも連携を図り、お客様の課題解決に全力を尽くす所存です。



◀青木信用金庫 南平支店
前支店長 小出 健司 氏
(現在 芝前川支店 支店長)

プロフィール：株式会社福田メタル

【所在地】さいたま市緑区大字代山705-1

【設立年月】1994年5月

【事業内容】金属材料精密スリット加工

☎ 048-711-4691

URL <https://www.f-metal.co.jp/>